



夏

2020

No.156

けんぽ モリナガ

掲載内容 一覧

令和2年度 予算のお知らせ

人間ドックを利用して健康づくりに取り組みましょう！

人間ドック・ミニドックのWEB予約システムが
KENPOS（ケンポス）に変わりました

すべての健康保険組合が『データヘルス計画』に取り組んでいます
当健保組合最重要課題 特定健診・特定保健指導の実施率向上

今年も「ハビット」に参加しましょう

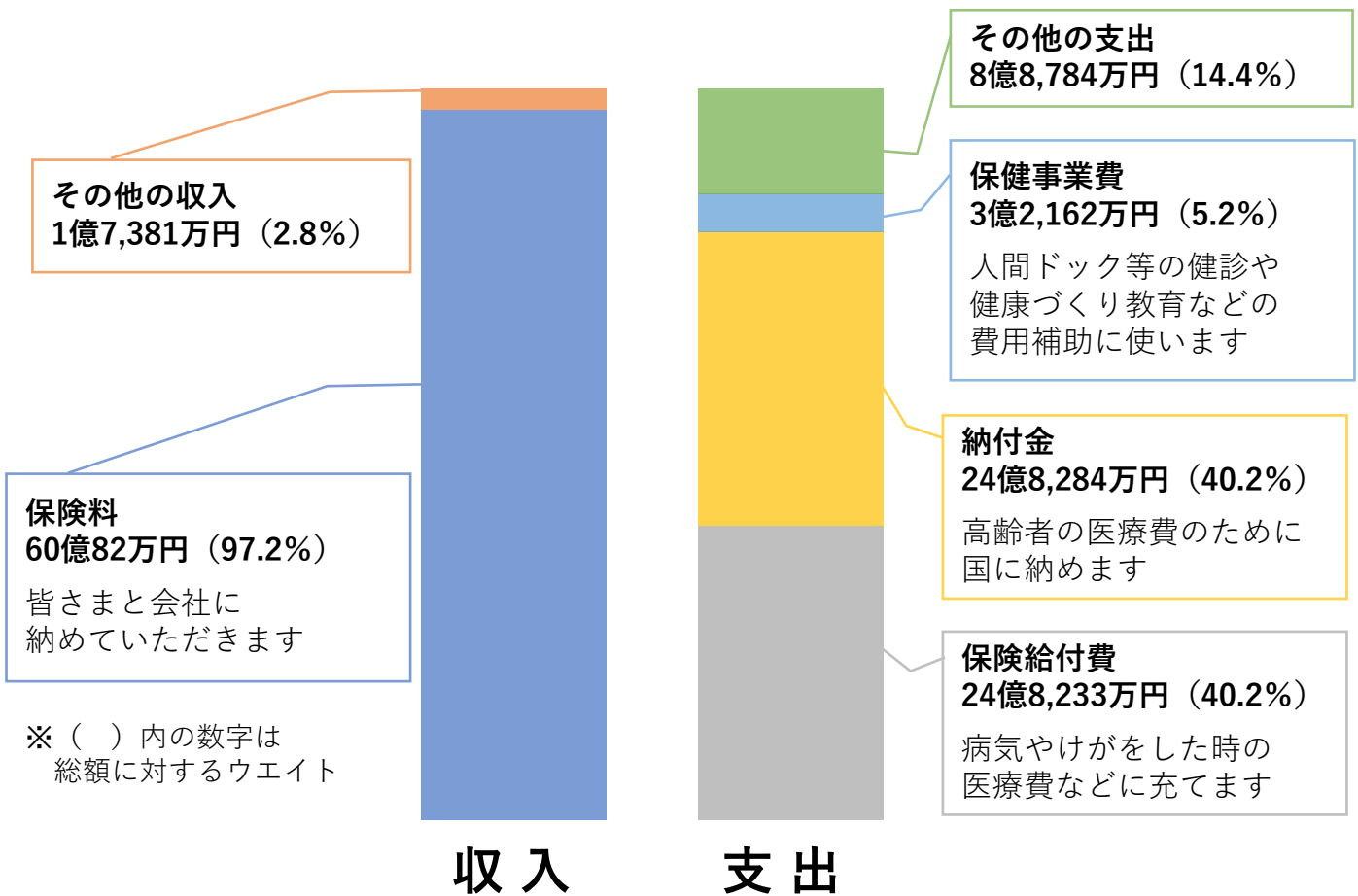
災害で被災された方に対する一部負担金等の免除について

適用事業所に関する変更情報（名称変更、廃止）

令和2年度予算のお知らせ

令和2年2月19日、第210回組合会において予算案が承認されました。
一般勘定については平成28年3月の保険料率アップ（84→98%）以降、
財政は安定しており、収支差引額を別途積立金として蓄えてきました。
別途積立金の現状と長期予測から保険料率を引き下げられると判断し、
2%下げて96%へ変更しました。

一般勘定 予算総額 61億7,463万円



収入

保険料収入は、保険料率変更98→96%と次の基礎数値をもとに算出しています。

被保険者数 10,620人（前年度予算より20人増加、100.2%）

標準報酬月額 37万3,284円（前年度予算より4,500円増加、101.2%）

1人当り年間賞与額 156万7,021円（前年度予算より3万2,839円減少、97.9%）

支出

保険給付費は、過去2年の動向から減少でみています（前年度予算比96.5%）。

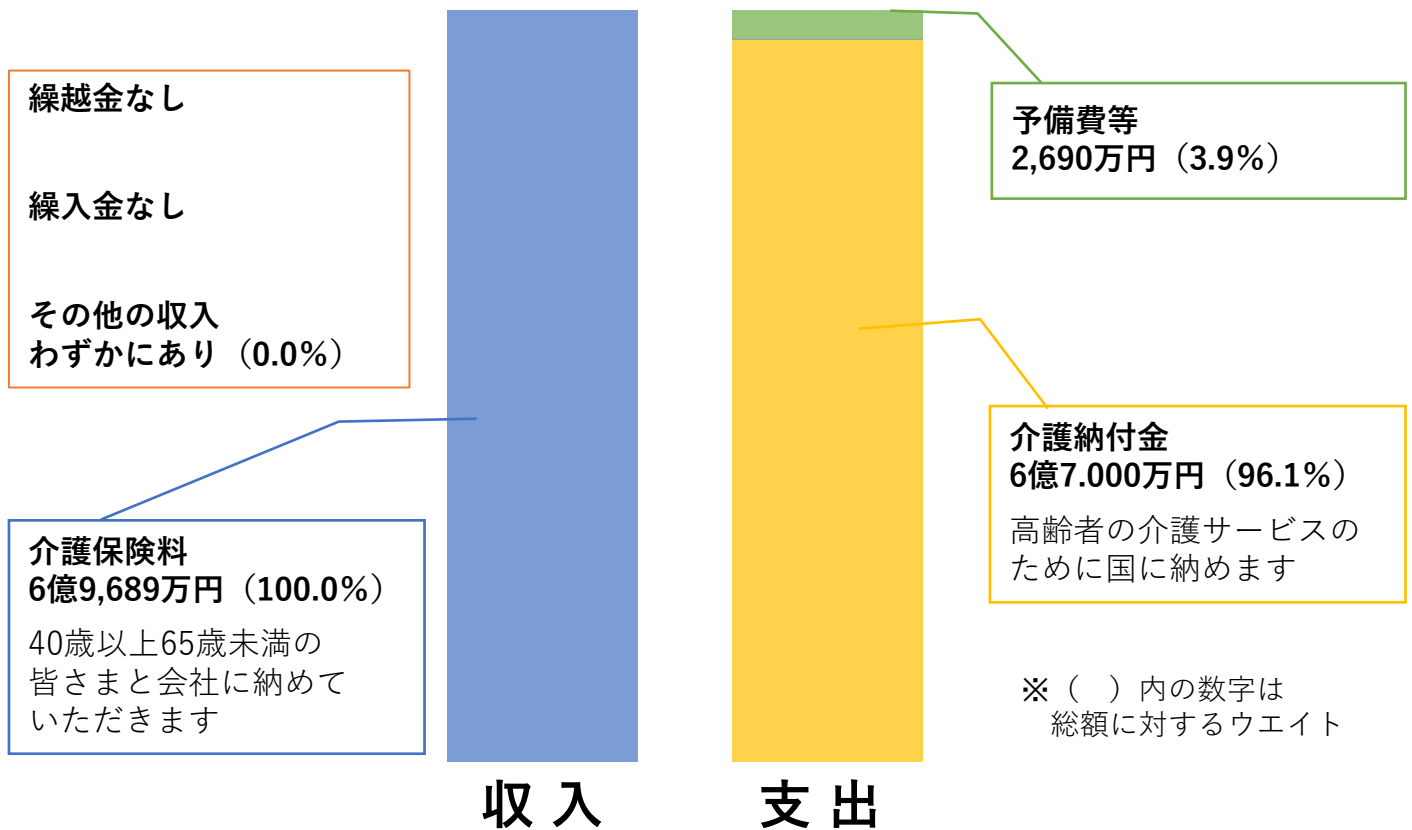
納付金は、健保連の試算ツールで算出した結果、前年度予算よりも約2億4,700万円減少となりました（91.0%）。

保健事業費は、各種健診、健康づくり教育を強化するため、前年度予算よりも約3,300万円増やしています（111.5%）。

介護勘定は、平成29年度から総報酬割が導入された介護納付金の増加によって財政がひっ迫しています。

保険料率については、一昨年1%引き上げていますが、今回さらに3%引き上げ、18%としました。

介護勘定 予算総額 6億9,690万円



令和2年度の保険料率 (%)

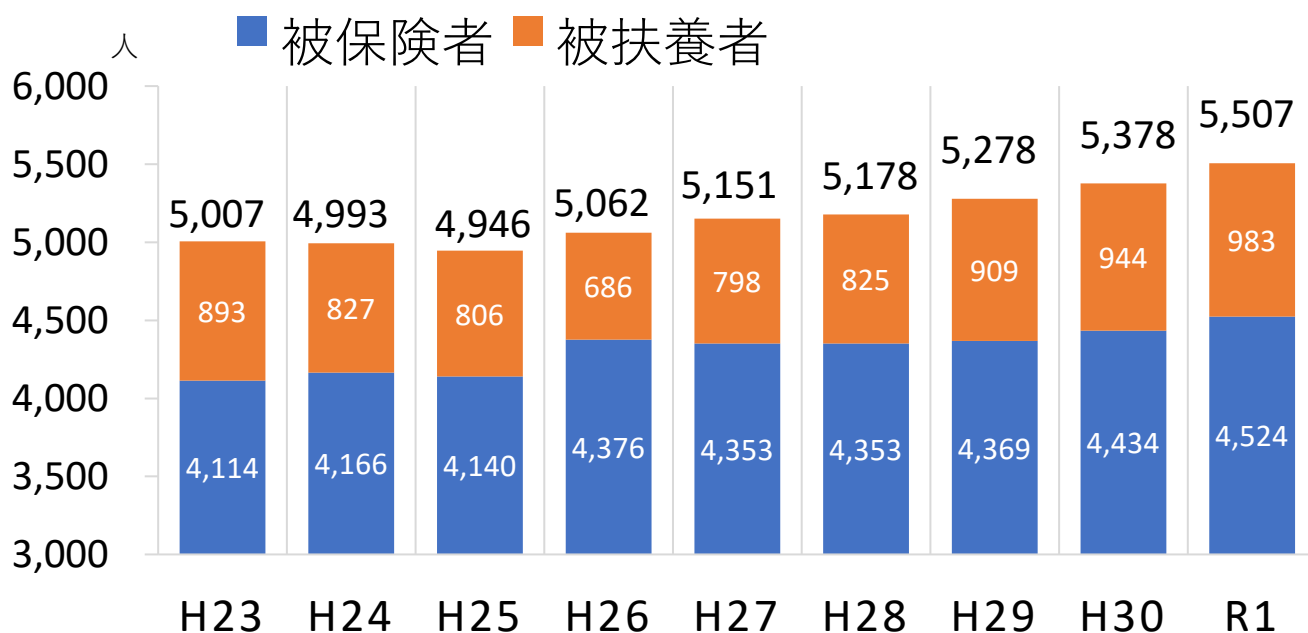
	一般保険料率			調整 保険料率	合計 (一般+調整)	介護 保険料率 (40歳以上 65歳未満)
		基本 保険料率 (再掲)	特定 保険料率 (再掲)			
事業主	57.195	33.530	23.665	0.805	58.0	9.0
被保険者	37.505	21.987	15.518	0.495	38.0	9.0
計	94.700	55.517	39.183	1.300	96.0	18.0

人間ドックを利用して 健康づくりに取り組みましょう！

定期的に受診して自分の健康状態を把握しましょう。
リピーターが多いのは「利用価値」が認められているからです。
まだ利用したことがない方も、ぜひ受診して確かめてください。
当健保組合が費用の7割を補助しますので自己負担は3割ですみます。

※ オプションの脳ドックだけは自己負担5割

人間ドック受診者の推移 着実に増加中！



「人間ドック」以外で当健保組合の補助がある健診に「ミニドック」と「郵送健診」があります。
この2つは健保組合で基本的に費用を全額負担するため対象者は無料で受けられます。
ただ、「人間ドック」との併用はできません。年度内で受けられるのはどれか1つだけです。
また、「郵送健診」は検体を提出しなかった場合、費用の半額を請求させていただきます。

健診名	対象者	対象年齢 (年度末時点)	内容等
ミニドック	被扶養者（家族） 任継被保険者（本人） 任継被扶養者（家族）	40歳以上	「KENPOS（次ページ参照）」で予約。 基本検査は無料。オプション検査は無料と全額自己負担があり選択可能（WEB予約画面で確認可能）。
郵送健診	被扶養者（家族） 任継被保険者（本人） 任継被扶養者（家族）	20歳以上	「健康マイポータル」またはFAXで申し込み。 無料。6種類のがん検査から2つまで選択可能。
	女性被保険者（本人）	20～29歳	「健康マイポータル」またはFAXで申し込み。 無料。子宮頸がん検査。

人間ドック・ミニドックのWEB予約システムが KENPOS（ケンポス）に変わりました

これまで『けんぽのここカラダ』を3年間ご利用いただき、
ありがとうございました。

2020年度からは『KENPOS』をご利用していただきます。
コロナ禍の影響で、予約申し込みの状況は昨年より遅れていますが、
ドック受診のリピーターの方も、初めての方も、ぜひご利用ください。

『KENPOS』はWEB予約機能にとどまりません。
健康づくりに役立つ多様な情報・サービスの総合メニューとして
ご利用いただけます。

コロナ禍によるテレワークや外出自粛における自宅での健康管理の
助言なども扱っています。

『KENPOS』へのログイン



「健康マイポータル」トップ画面から

『初回登録・利用手順書』の閲覧



「健康マイポータル」または
「森永健康保険組合ホームページ」のトップ画面から



すべての健康保険組合が『データヘルス計画』に取り組んでいます

当健保組合最重要課題 特定健診・特定保健指導の実施率向上

平成25年6月に政府が閣議決定した「日本再興戦略」の中で“国民の健康寿命の延伸”が重要な柱として掲げられました。

『データヘルス計画』は、その実現に向けて、平成27年度からすべての健康保険組合に取り組みが求められたものです。

具体的には、健保組合がやみくもにいろいろな保健事業を実施するのではなく、レセプトや健診情報等のデータを活用して科学的にアプローチ※することで、事業の実効性を高めていくことが狙いです。

※ 科学的アプローチの例

医療費の状況の把握、健康リスクの階層化、効果が高い対象者の抽出等

そのための根幹となるのが「特定健診・特定保健指導」の推進です。

特定健診とは？

心筋梗塞や脳卒中、糖尿病などの生活習慣病を予防するため、原因となるメタボリックシンドロームに着目することから「メタボ健診」とも呼ばれ、対象は40～74歳です。会社の定期健康診断や人間ドック等の結果を利用します。

特定保健指導とは？

特定健診の結果をもとに、病気になる前の段階で生活習慣の改善を促すものです。食事や運動による減量のサポートを行います。健診結果から対象に選ばれた方には当健保組合から通知とともにご案内をします。

残念ながら、当健保組合の実施状況（実施率％）は全国の単一組合平均と比較し、特に特定保健指導において遅れをとっています。

	特定健診		特定保健指導	
	当健保組合	単一組合平均	当健保組合	単一組合平均
平成28年度	66.0 %	77.4 %	9.7 %	24.2 %
平成29年度	71.9 %	79.4 %	4.5 %	26.8 %
平成30年度	80.9 %	未公表	8.5 %	未公表

特定健診については、ご家族の健診受診率を上げることが必要です。

特定保健指導についてご案内や受診勧奨をしても、「自分で管理できるから大丈夫」とせっかくの機会を辞退される方が多いのは残念です。

費用は当健保組合が全額負担しますので、個人負担はありません。

特定保健指導の対象となられた旨の通知を受け取られた場合には、ぜひ生活習慣を見直す良い機会ととらえて、保健指導を受けてください。

管理栄養士等の専門スタッフが、3か月間にわたって生活習慣病を防ぐサポートをいたします。

今年も「ハビット」に参加しましょう

昨年の第18回ではWEBサービス「健康マイポータル」からの参加者が増え（前年比111%）、全体の95%を占めました。

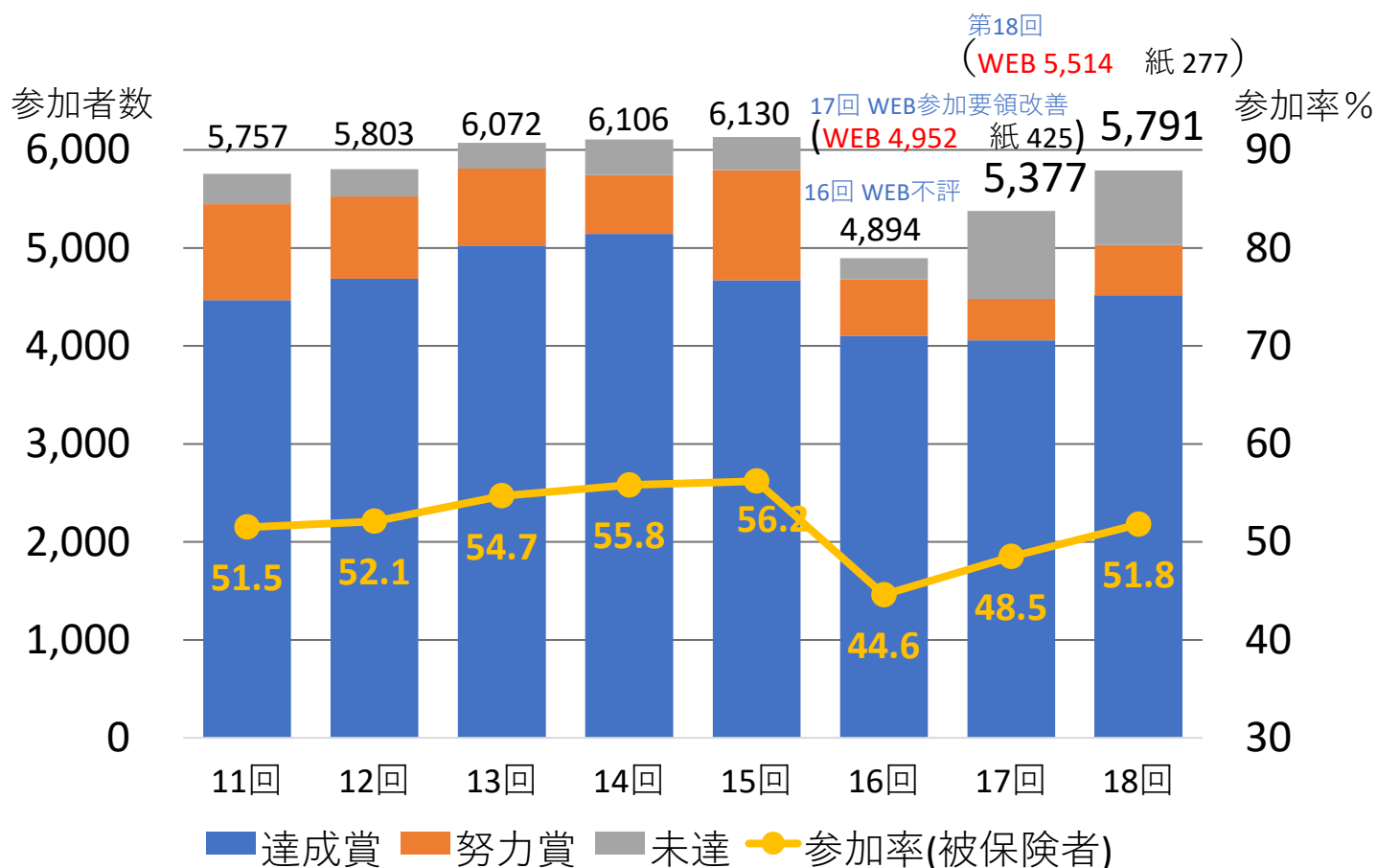
参加者数と被保険者（ご本人）の参加率も改善してきています。

第18回からは配偶者だけでなく健康マイポータルに利用登録済の被扶養者（ご家族）であれば参加できるようになりました。

それでも、参加者のうち、ご家族の割合は5%にとどまっています。

今後、さらにご家族に参加してもらいキャンペーンを盛り上げていきます。

参加者数、参加率%（被保険者）の推移



達成賞：70%以上達成したチャレンジ目標が2つ以上

努力賞：70%以上達成したチャレンジ目標が1つだけ

災害で被災された方に対する 一部負担金等の免除について

令和2年7月3日から各地で発生した大雨（以下、『令和2年7月豪雨』）により被災された皆さまには、心よりお見舞い申し上げます。

当健保組合では、災害救助法が適用された地域における住家の全半壊、床上浸水等の要件に該当される方に対し、医療機関等の窓口で支払う一部負担金等の支払いを免除しております。

『令和2年7月豪雨』の被災者については、令和2年12月31日まで免除しています。状況によっては延長することもあります。

免除手続きについては、森永健康保険組合ホームページのNEWS&TOPICS 新着情報をご覧ください。

<http://www.morinaga-kenpo.or.jp/index.html>

ご参考

『令和2年7月豪雨』は9県98市町村に災害救助法が適用されています。（令和2年7月29日現在。詳細は下記URLよりご確認できます）

http://www.bousai.go.jp/taisaku/kyuujo/kyuujo_tekiyou.html

適用事業所に関する変更情報

名称変更

令和元年8月1日	横浜森永乳業株式会社（旧社名 横浜乳業株式会社）
令和2年4月1日	株式会社森永乳業ビジネスサービス （旧社名 株式会社リザンコーポレーション）
廃止	
令和2年1月1日	森永スナック食品株式会社
令和2年4月1日	株式会社北海道デイリーサービス
令和2年4月1日	森永甲府フーズ株式会社
令和2年5月16日	森永リスクコンサルティング株式会社